

令和 8(2026) 年度

一橋大学学校推薦型選抜募集要項

1 一橋大学研究教育憲章・各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
2 募集学部及び募集人員等	6
3 出願資格・要件	7
4 出願手続	12
(1) 出願期間	12
(2) 出願方法	12
(3) 出願書類等	12
(4) 注意事項	15
(5) 個人情報の取扱い	15
5 障害等のある入学志願者への受験上の配慮について	16
6 選抜方法等	17
7 第1段階選抜・第1段階選抜合格者発表・第2次試験	17
(1) 第1段階選抜	17
(2) 第1段階選抜合格者発表日時	20
(3) 受験票等について	20
(4) 第2次試験	20
8 最終合格者発表	22
9 入学料の納入	23
10 入学手続	23
11 授業料の納入及び入学料・授業料の免除・徴収猶予について	24
12 その他	25
13 参考（学校推薦型選抜合格状況）	26
○ 経済的困窮者及び災害被災者に対する検定料免除制度について	27
○ 国際学生宿舎について	28
○ 住まい支援制度について	28
○ 入学者選抜成績情報の提供について	29
○ 一橋大学入学者選抜関連ウェブサイト・問合せ先	30



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

不測の事態が発生した等の場合は、本要項に記載されている試験期日や選抜方法等を変更することがあります。その場合の情報提供は以下のウェブサイトへの掲載により行いますので、特に出願及び受験の直前は必ず確認してください。

一橋大学トップページ > 一橋大学で学びたい方へ <<https://juken.hit-u.ac.jp/>>

1 一橋大学研究教育憲章・各学部のアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

一橋大学研究教育憲章

一橋大学は、市民社会の学である社会科学の総合大学として、リベラルな学風のもとに日本における政治経済社会の発展とその創造的推進者の育成に貢献してきた。人文科学を含む研究教育の水準はきわめて高く、創立以来、国内のみならず国際的に活躍する、多くの有為な人材を輩出している。

この歴史と実績を踏まえ、一橋大学は、日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築に資する知的、文化的資産を創造し、その指導的担い手を育成することを使命とする。一橋大学は、この使命を達成するため、先端的、学際的な社会科学の研究教育を積極的に推進し、日本及び世界における拠点として、人間社会に共通する重要課題を解決することを目指し、研究教育の理念と基本方針とを次のように定める。

1 一橋大学の研究教育の理念

- (1) 充実した研究基盤を確立し、新しい社会科学の探究と創造の精神のもとに、独創性に富む知的、文化的資産を開発、蓄積し、広く公開する。
- (2) 実務や政策、社会や文化との積極的な連携を通じて、日本及び世界に知的、実践的に貢献する。
- (3) 豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成する。

2 一橋大学の研究教育の基本方針

- (1) 大学の社会的責任を自覚し、法と倫理を重んじ、自治と知的誠実の精神をもって研究教育を行う。
- (2) 研究教育における構成員の自由と自律、個性と多様性を尊重する。
- (3) 理論的研究と実務的研究、基礎的研究と先端的研究を等しく重視する。
- (4) 研究成果を国内外に広く公開するとともに、客観的、かつ、公平な自己評価及び外部評価により、その成果を厳しく検証する。
- (5) 対話と双方向の教育を基軸とした、自由で緊張感ある教育環境を育成し、発展させる。
- (6) 学生個々人の感性を磨き、理性を鍛え、創造性と論理性、構想力と判断力を養うことを教育の指針とする。
- (7) 市民社会、産業界、官界との連携を適正、かつ、積極的に推進し、社会の課題に的確に応える。
- (8) 研究教育の国際的連携を図り、情報・人的ネットワークを構築する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

(1) 商学部

【求める学生像】

一橋大学商学部は、企業や市場に関連した現象に対して進んで関心を持ち、それを深く観察することで解決すべき問題を設定し、社会科学的な思考・理論と現実が生じる事象との往復運動を繰り返しながら問題に対する創造的な解を導き、さらにリーダーシップを発揮してそれを実行に移せる人材の育成を使命としています。そのために、商学部に入学者は、経営学、会計学、金融論、マーケティングといった領域を中心として、「企業や市場に関連する応用社会科学」を、少人数のゼミナールにおけるきめ細かな指導と、基礎から応用へと着実に展開する段階的なカリキュラムを通じて、学んでいきます。入学後に学修を効果的に進めるためには、社会全般に対して高い関心をもっていることが重要です。企業や市場に限らず、様々な社会的問題に対する関心を抱くことは、自ら課題を見つけ、主体的に学んで、解決策を導こうとする意欲の源泉になるからです。

企業や市場に関連する応用社会科学を理論的に深く理解し、社会事象を実証的に分析するためには、高度な数理的・論理的能力が必要となります。さらに、国際社会で活躍するためには、外国語によるコミュニケーション能力だけでなく一般的な言語能力が不可欠です。高等学校までの学習において、これらの基礎を身につけておくことにより、商学部での学びはより充実したものとなるでしょう。

【入学者選抜の基本方針】

【求める学生像】に示した知識・能力等を備えているかどうかを判定するため、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を次のような入学者選抜において評価します。

一般選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査（国語・外国語・数学・地理歴史）によって「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価します。

学校推薦型選抜では、大学入学共通テスト及び個別学力検査（小論文と面接）によって「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力等の能力」を評価するとともに、個別学力検査（面接）、調査書、推薦書及び自己推薦書によって「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

さらに、私費外国人留学生選抜を実施して、世界各国の留学生を積極的に受け入れています。

(2) 経済学部

経済学部では、経済学の知識と分析技術及びそれらを経済学の専門的な分野に応用する能力を備え、幅広い知識と教養及びグローバルなコミュニケーション能力を経済学の知識と分析技術と融合させて現実の経済・社会の課題を設定し解決に導く能力を、学士（経済学）の授与までに獲得できる人材として以下「1. 求める学生像」に掲げる能力や資質を持った方の入学を期待しています。この目標のため、「2. 入学者選抜の基本方針」に基づいて入学者を選抜します。

1. 求める学生像

以下のすべてを備えた人を求めています。

- (1) 経済学の修得に必要な知識・技能を身に付けていること。特に、理論、実証、歴史を体系づけて経済・社会現象を理解するための前提知識
- (2) 幅広く豊かな教養を修得できるだけの知識・技能
- (3) グローバルなコミュニケーション能力を修得するための英語をはじめとする外国語の知識と思考力・判断力・表現力等の能力
- (4) 経済・社会における様々な問題に対して自ら課題を設定し、説得力のある議論に基づいて解決方法を提案する思考力・判断力・表現力等の能力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

2. 入学者選抜の基本方針

上記に掲げる能力と資質を有しているかを以下の方法を用いて選抜します。

- (1) 一般選抜においては、主として大学入学共通テストで(2)と(3)を、個別学力検査で(1)と(3)を評価します。特に、経済学の理解に必要な英語と数学を重要視します。
- (2) 学校推薦型選抜においては、主として大学共通テストと小論文による個別学力検査で(1)～(3)を、面接による個別学力検査と調査書、(学校による)推薦書、及び自己推薦書で(1)～(4)を評価します。
- (3) 一般選抜は前期日程に加えて後期日程を実施することで多様な人材の確保に努めます。

(3) 法学部

一橋大学法学部では、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成するとの理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 求める学生像

本学部は、本学のリベラルな学風の下、学修に関する学生の自主性を最大限尊重しつつ、幅広い教養と社会科学の総合的視野を有すると共に豊かな人権感覚と社会的公共性に裏打ちされた法学の専門的素養や国際的洞察力を修得することで、法化現象の進展とグローバリゼーションの著しい社会状況を前に、将来にわたり日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築と改革に寄与することのできる多様な人材を育成することを、教育目標としています。

この教育目標を達成するため、本学部は、(1)社会問題を理解するための基礎となる知識・技能、(2)論理的に思考し明晰な言葉で表現する力、及び(3)高いコミュニケーション能力を有する意欲的な学生を求めています。

(1) 社会問題を理解するための基礎となる知識・技能

実社会で生じる問題を多く扱う法学と国際関係学の学修には、学生にとっては必ずしも身近とはいえない事象も含め、日々報道される様々な社会問題に高い関心を持ち、意欲的に情報収集をして知見を広げ、自ら理解を深めようとする姿勢が重要です。そして、そのような学修の前提として、関心を持った社会問題を適切に理解するための基礎的な知識・技能を習得していることも重要となります。

そのため、学力の「知識・技能」という要素の学習成果として、大学入学前に、国語、数学、理科及び情報に関する知識を習得していること、社会問題理解の大前提となる日本と世界の地理・歴史や公民の科目の知識を習得していること、外国語を理解・活用する知識及び技能を有していることが求められます。

(2) 論理的に思考し明晰な言葉で表現する力

論理的に思考し明晰な言葉で表現する力の鍛錬は、法学部のカリキュラム全体を通じて行われることとなりますが、基礎的な能力を備えていることが入学時に求められます。そのため、学力の「思考力・判断力・表現力等の能力」という要素の学習成果として、大学入学前に、適切に論説文の読解や数学的思考の訓練等を行い、基礎的な論理的思考力・表現力を涵養してきた学生を求めています。

日本語能力に関しては、入学の時点で、様々な文章の論旨を正確に把握する能力及び比較的長い論理的文章を作成する能力を有していることが求められます。また、優れた国際的感覚を身につける前提として、英語を中心とする外国語の能力も欠かせません。入学時には、他の外国語を習得する際の基礎学力にもなる英語について、文章の高い理解力と表現力を有していることが求められます。

(3) 高いコミュニケーション能力

本学部で習得することのできる知識や能力の前提条件として、高いコミュニケーション能力は必要不可欠です。カリキュラムを全うして学位を取得するためには、ゼミナール等で主体性を持って教員や他の学生との議論に参加し、協働して学ぶことが必須となるため、相手の考えを適切に理解し、自らの考えを相手に伝わるように的確に表現することが重要です。そのため、学力の「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」という要素の学習成果として、大学入学前に高いコミュニケーション能力を身につけた学生を求めています。

日本語・外国語双方でのコミュニケーション能力は、多様化・グローバル化が進む世界の中で、立場や考えを異にする人々と交わりながら活躍してゆくための基盤となるものであり、国際関係について学ぶことを志す学生のみならず、国内の実定法を専門的に学ぼうとする学生や法律専門職を志す学生にも欠かせないものです。大学入学後にもこの能力を高める教育が実施されますが、大学入学前に、その前提となる上記の基礎的な能力を習得していることが求められます。

2. 入学者選抜の基本方針

上記の(1)～(3)にかかる各受験生の能力を確認するため、次のような基本方針で入学者選抜を実施します。

- (a) 一般選抜では、大学入学共通テスト及び論述式試験を基本とする第2次試験で(1)及び(2)を確認します。
- (b) 学校推薦型選抜では、大学入学共通テスト及び小論文試験で(1)及び(2)を確認します。さらに、推薦書・調査書等の提出書類で(3)を、面接試験で(1)、(2)及び(3)を、それぞれ確認します。
- (c) 外国学校出身者選抜では、第1次選抜の英語・小論文で(1)及び(2)を、第2次選抜の面接で(3)を、それぞれ確認します。また、私費外国人留学生選抜では、TOEFLの成績、日本留学試験（総合科目・数学コース1）の成績及び学力試験（日本語）で(1)及び(2)を、提出書類により(3)を、それぞれ確認します。

(4) 社会学部

一橋大学社会学部では、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力のある専門人、理性ある革新者、指導力のある政治経済人を育成するという本学が掲げる理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 求める学生像

一橋大学社会学部は、社会科学及び人文科学の専門的・総合的な教授を通じて、現代社会の諸問題を多角的・批判的に分析し豊かな構想力をもって実践的に解決する人材の育成を目指します。

この目的の実現のために社会学部が用意するカリキュラムは、さまざまな学問分野（社会学・社会調査、国際社会学、哲学・思想、言語文化、社会心理学、人類学、地理学、教育学、政治学、スポーツ社会学、社会政策、歴史学、ジェンダー研究、等々）を専門的に、分野横断的に学修できるよう作られています。また、社会学部生活後半の中核となる後期ゼミナールでは、指導教員のもと、少人数の仲間たちとともに対象を見つめ、意見を交わし、材料を分析・考察し、協同的に思考を重ねながら、学修を深化・高度化させていきます。

学生たちのこのような学修を推進するにあたって、社会学部が重視していることが二つあります。「問題を多面的に把握する」とことと「社会が直面する課題に関心をもつ」とことです。

(1) 現実・問題を多面的に把握する

問題にはさまざまな面があること、そうした多面性は捉え方次第でいっそう際立ったものになること、それはまた自分自身が当たり前だとしてきた前提の問い直しにもつながること・・・社会学部の学生たちはこういった理解体験を重ね、いっそうの学修の必要を感じ、それぞれの取り組みにますます注力していきます。社会学部で学ぼうとする方々には、まずこのような「問題を多面的に把握する」姿勢をもっていただきたいと思います。カリキュラムに用意されるたくさんの選択肢はそうした姿勢を養うためのものです。時に矛盾・衝突しあう知識を、さまざまな学問分野に求め、それらに依りながら問題を相対的・多面的に比較検討し、考察と判断を重ねてひとつの結論へと編み上げていく、そのような知力を獲得していただきたいと思います。

(2) 社会が直面する課題に関心をもつ

現代社会はさまざまな課題に直面しています。メディアで、ネットで、人びとの間で、いろいろな形で言及されてもいるそれらに対して、社会学部で学ぼうとする方々、学ぶ学生たちには、常に諸課題に関心を向け、対話を通じてその解決に取り組んでいただきたいと思います。人びとと現実の多様性に心を開き、歴史と文化を異にするさまざまな世界のあり方に目を向け、対話と理解を続けようとすることです。そしてまた、おたがいの共感と配慮のうえに、それぞれのやり方で考え、意見を述べ、誠実かつ真摯に議論を積み重ねていくということです。

このため社会学部は特定の得意科目にとどまらず、自然科学も含めて幅広くさまざまな科目に積極的に取り組もうとする姿勢をもった学生を歓迎します。もちろん、ある科目が得意でとくにそれを詳しく学びたいという学生を拒むわけではありません。ただ、大学で学問を深めるには他分野への関心も含めた視野の広さが不可欠です。特定の科目に自信があり、大学で勉強したい分野がはっきりしている人も、その学びを深めるための土台として広範な知識と関心が必要だということを理解して欲しいと思います。また、大学で何を学ぶのかをこれから模索しようとする学生も社会学部は歓迎します。試行錯誤しながら自分の関心を次第に研ぎ澄ましていこうとする学生をサポートするカリキュラムを私たちは提供しています。

2. 入学者選抜の基本方針

上記のような能力を備えた学生を選抜するため、社会学部では一般選抜、学校推薦型選抜、外国学校出身者選抜及び私費外国人留学生選抜を実施します。一般選抜及び学校推薦型選抜においては、基礎学力が確かに身についていることを確認するため、大学入学共通テストで6教科の受験を課します。それに加えて、一般選抜前期日程では、上記の能力及び資質等を総合的に判定するため、第2次試験で国語・数学・外国語・地理歴史を課します。学校推薦型選抜では、基礎学力が身についているかを大学入学共通テストで確認した上で、外国語、数学、情報学などの特定の分野における深い学びを資格・検定試験の結果で判定するとともに、応用力や学びへの姿勢を確認するために、小論文、面接試験、自己推薦書、推薦書を用いた選抜を実施します。

(5) ソーシャル・データサイエンス学部

一橋大学ソーシャル・データサイエンス学部は、豊かな教養と市民的公共性を備えた、構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人を育成するとの理念に基づいて、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 求める学生像

本学部では、社会科学とデータサイエンスが融合するソーシャル・データサイエンスの教育を通じて、社会に存在する課題を解決できるソーシャル・データサイエンスのゼネラリストの養成を目指すことを使命としています。

その目的の実現のため、本学部では、社会科学とデータサイエンスの両方を専門的に学ぶとともに、それらを融合させるカリキュラムを用意しています。その教育課程では、文系・理系双方の知識が必要とされます。併せて、現実の社会における様々な課題を発見・解決しようとする積極的姿勢や、様々な人びととの適切なコミュニケーションも求められます。

よって本学部では、文系・理系にかかわらず、堅固な基礎学力に加え、以下のような知識や能力を備えた入学者を受け入れたいと考えます。まず、本学部における広範な科目での学びの基礎となる数学の堅固な基礎知識とそれに基づく論理的な思考力です。また、本学部で様々な人びととの学びを通じて社会科学とデータサイエンスの知識を修得するためには、日本語及び英語を用いた読解力、説明力、表現力、思考力が必要です。

それらに加え、社会科学とデータサイエンスの知識を融合させる上では、入学前の様々な機会を通じた学習の結果

として、社会において数理的なものの考え方を応用する能力や、情報技術の活用について自ら試行する姿勢を備えていることも望ましいと考えています。

2. 入学者選抜の基本方針及び多面的・総合的な評価方法

上記のような能力を備えた学生を選抜するため、本学部では一般選抜及び学校推薦型選抜を実施します。

すべての選抜区分において、基礎学力が確かに身に付いていることを確認するため、大学入学共通テストで6教科の受験を課します。併せて、調査書を通じて学びへの意欲を確認します。

それに加えて、一般選抜前期日程では、上記の能力を幅広く確認するため、第2次試験で数学・国語・英語・総合問題を課します。

また、一般選抜後期日程では、特に数学・英語において上記の能力が高い学生を選抜するため、第2次試験で数学・英語の試験を課し、数学では数学Ⅲの範囲の問題も出題します。

そして、学校推薦型選抜では、外国語、数学、情報学、統計学などの特定の分野における深い学びを資格・検定試験の結果で確認するとともに、応用力や学びへの姿勢を確認するため、小論文、面接試験、自己推薦書、推薦書を用いた選抜を実施します。

【全学部共通】 【「学力の3要素」の多面的・総合的な評価方法】

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○
	推薦書			○
	自己推薦書			○
外国学校出身者選抜	個別学力検査	○	○	
	面接	○	○	○
私費外国人留学生選抜	TOEFL	○	○	
	日本留学試験	○	○	
	個別学力検査	○	○	

(注) ○は、特に重視する要素

2 募集学部及び募集人員等

募集学部	学科	募集人員
商学部	経営学科	15 人
	商学科	
経済学部	経済学科	15 人
法学部	法律学科	10 人
社会学部	社会学科	10 人
ソーシャル・データサイエンス学部	ソーシャル・データサイエンス学科	5 人

(注 1) 商学部は、学科を区別せずに一括して募集し、第3学年進学時に配属します。

(注 2) 合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

3 出願資格・要件

次の出願資格及び出願要件をともに満たす者

【商学部】

(1) 出願資格

(a) 令和 8(2026)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できるもの

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 8(2026)年 3 月卒業見込みの者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、「7 第 1 段階選抜・第 1 段階選抜合格者発表・第 2 次試験」別表の第 2 欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

(2) 出願要件

次の(A)～(G)のいずれか1つ以上に該当する者

(A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア 93点以上、IELTS（アカデミック・モジュール）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過（A ランク取得者）又は、B ランク上位者*

* 第35回（2025年1月）、第34回（2024年1月）は5点取得。

第33回及び第30回以前の点数については、最終頁記載の問合せ先に確認すること。

※オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明するものを提出できること。

②2025年11月21日（金）までに本学入試課にメール（最終頁記載）にて連絡のうえ、所定の審査を受けていること。審査に当たっては①の証明及び「日本数学オリンピック予選の得点にかか
る誓約書（本学様式）」の提出が必要です。

(F) 応用情報技術者試験（旧ソフトウェア開発技術者試験）に合格している。

(G) 日商簿記検定試験1級を取得している。

【経済学部】

(1) 出願資格

(a) 令和 8(2026)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できるもの

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 8(2026)年 3 月卒業見込みの者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、「7 第 1 段階選抜・第 1 段階選抜合格者発表・第 2 次試験」別表の第 2 欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

(2) 出願要件

次の(A)～(E)のいずれか1つ以上に該当する者

(A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア 93点以上、IELTS（アカデミック・モジュール）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過（Aランク取得者）又は、Bランク上位者*

* 第35回（2025年1月）、第34回（2024年1月）は5点取得。

第33回及び第30回以前の点数については、最終頁記載の問合せ先に確認すること。

※オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明するものを提出できること。

②2025年11月21日（金）までに本学入試課にメール（最終頁記載）にて連絡のうえ、所定の審査を受けていること。審査に当たっては①の証明及び「日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書（本学様式）」の提出が必要です。

【法学部】

(1) 出願資格

(a) 令和 8(2026)年度大学入学共通テストのうち法学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できるもの

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 8(2026)年 3 月卒業見込みの者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、「7 第 1 段階選抜・第 1 段階選抜合格者発表・第 2 次試験」別表の第 2 欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

(2) 出願要件

次の(A)～(E)のいずれか1つ以上に該当する者

(A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア 93点以上、IELTS（アカデミック・モジュール）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過（Aランク取得者）又は、Bランク上位者*

* 第35回（2025年1月）、第34回（2024年1月）は5点取得。

第33回及び第30回以前の点数については、最終頁記載の問合せ先に確認すること。

※オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明するものを提出できること。

②2025年11月21日（金）までに本学入試課にメール(最終頁記載)にて連絡のうえ、所定の審査を受けていること。審査に当たっては①の証明及び「日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書（本学様式）」の提出が必要です。

【社会学部】

(1) 出願資格

(a) 令和8(2026)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できるもの

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8(2026)年3月卒業見込みの者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)に該当しない場合でも、「7 第1段階選抜・第1段階選抜合格者発表・第2次試験」別表の第2欄に指定する教科・科目のすべてを受験した者は、(a)に該当する者とみなす。

(2) 出願要件

次の(A)～(F)のいずれか1つ以上に該当する者

- (A) 実用英語技能検定（英検）1級、TOEFL iBTスコア 93点以上、IELTS（アカデミック・モジュール）Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

- (B) ドイツ語技能検定試験（独検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（GER）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

- (C) 実用フランス語技能検定試験（仏検）準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠（CECRL）が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

- (D) 中国語検定試験（中検）準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

- (E) 日本数学オリンピックで予選通過（Aランク取得者）又は、Bランク上位者*

*第35回（2025年1月）、第34回（2024年1月）は5点取得。

第33回及び第30回以前の点数については、最終頁記載の問合せ先に確認すること。

※オンラインで実施された第31回（2021年1月）及び第32回（2022年1月）予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱います。

- ①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明するものを提出できること。

- ②2025年11月21日（金）までに本学入試課にメール（最終頁記載）にて連絡のうえ、所定の審査を受けていること。審査に当たっては①の証明及び「日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書（本学様式）」の提出が必要です。

- (F) 応用情報技術者試験（旧ソフトウェア開発技術者試験）に合格している。

【ソーシャル・データサイエンス学部】

(1) 出願資格

(a) 令和8(2026)年度大学入学共通テストのうち本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する教科・科目のすべてを受験した者で、(b)次に掲げる項目に該当し、(c)高等学校長又は中等教育学校長が責任を持って推薦できるもの

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和8(2026)年3月卒業見込みの者
- ② 合格した場合は、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目に関する(a)について、「7 第1段階選抜・第1段階選抜合格者発表・第2次試験」別表の第1欄と第2欄の両方に該当する場合は、点数が高い方の成績を用いる。

(2) 出願要件

次の(A)～(J)のいずれか1つ以上に該当する者

(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFL iBTスコア 93点以上、IELTS (アカデミック・モジュール) Overall Band Score 6.5以上のいずれかを取得している。

※TOEFL iBT Special Home Edition、TOEFL iBT Home Edition及びIELTS Onlineによるスコアは、本学受験のための利用を認めます。

※TOEFL iBTのMy Best Score及びIELTSのOne Skill Retakeは、本学受験のための利用を認めません。

(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めたB2以上のレベルの資格を取得している。

(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又はHSK6級200点以上のスコアを取得している。

(E) 日本数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又は、Bランク上位者*

* 第35回(2025年1月)、第34回(2024年1月)は5点取得。

第33回及び第30回以前の点数については、最終頁記載の問合せ先に確認すること。

※オンラインで実施された第31回(2021年1月)及び第32回(2022年1月)予選の受験者については、以下を条件に要件を満たすものとして取り扱いします。

①第31回は4点以上、第32回は6点以上を取得しており、それを証明するものを提出できること。

②2025年11月21日(金)までに本学入試課にメール(最終頁記載)にて連絡のうえ、所定の審査を受けていること。審査に当たっては①の証明及び「日本数学オリンピック予選の得点にかかる誓約書(本学様式)」の提出が必要です。

(F) 応用情報技術者試験(旧ソフトウェア開発技術者試験)に合格している。

(H) 日本情報オリンピックで予選Aランク取得者。

(I) 統計検定2級にA評価以上で合格もしくは1級の「統計数理」に合格している。

(J) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格を令和6(2024)年3月31日までに授与された者

※(G)は本学部においては欠番です。

4 出願手続

(1) 出願期間

令和 8(2026) 年 1 月 19 日(月) ～ 1 月 30 日(金) 必着

※Web 出願サイト登録期間は令和 8(2026) 年 1 月 19 日(月) 午前 9 時 00 分から 1 月 30 日(金) 17 時 00 分です。

(2) 出願方法

以下の①～④全ての手続を上記出願期間最終日までに完了してください。手続の詳細や FAQ は、下記の Web 出願サイトで確認できます。

※Web 出願サイトで登録を済ませ、検定料の支払を完了しても、「4 (3) 出願書類等」で指定されている書類一式が出願期間内に本学へ到着しない場合は、出願は受理しません。

Web 出願サイトでの登録に当たっては、インターネットに接続されたパソコン等の端末、プリンター、「@52school.com」からのメールが受信可能なメールアドレス、顔写真（証明写真）データをあらかじめ用意してください。

Web 出願サイト <https://www.guide.52school.com/guidance/net-hit-u/>

①出願情報登録

- ・上記URL又は本学ウェブサイト「一橋大学で学びたい方へ」からWeb出願サイトへアクセスし、画面の指示にしたがって必要事項を登録してください。
- ・出願情報確定後に登録内容の変更はできません。確定前には登録内容の確認を十分に行ってください。
- ・登録後に交付される整理番号・セキュリティコードは、受験票印刷や入学者選抜成績情報確認等で使用しますので、他人には教えず出願後も大切に保管してください。

②顔写真の登録及び検定料の支払

- ・顔写真データをWeb出願サイトで登録してください。
- ・顔写真の条件は「4 (3) 出願書類等」の「③Web出願サイトで登録作業が必要なもの」を参照してください。
- ・Web出願サイトで検定料（17,000円）の支払方法を選択のうえ、検定料を納入してください。
- ・支払時には、サービス利用料として別途700円がかかります。
- ・支払方法の詳細は「4 (3) 出願書類等」の「③Web出願サイトで登録作業が必要なもの」を参照してください。

③印刷

- ・Web出願サイトにて入学志願票及び宛名ラベルを出力し、印刷してください。
- ・上記「①出願情報登録」、「②顔写真の登録及び検定料の支払」が全て完了しないと印刷できません。

④郵送

- ・上記③で印刷した宛名ラベルを市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼り付け、「4 (3) 出願書類等」の①②の出願書類を封入し、「一般書留・速達郵便」で郵送してください。
- ・出願書類の提出は郵送に限ります。宅配便、バイク便等での提出及び本学へ持参しての出願は認めません。
- ・出願期間前に到着したものは受理しません。出願期間を過ぎて到着したものは、1 月 28 日(水)までの消印があるものに限り受理します。

(3) 出願書類等

① Web 出願サイトから印刷するもの

入学志願票	1 出願登録後、Web 出願サイトの申込確認ページから、白色 A4 サイズの用紙にカラー印刷してください。印字されている内容に誤りがないか確認してください。 2 ※印欄には記入しないでください。 【出願登録時の注意】 1 Web 出願サイト「大学入学共通テスト 受験教科・科目届」では、志望する学部の指定する大学入学共通テストを受験しているか、各自で確認のうえ、選択してください。 2 大学入学共通テスト成績請求情報の提供手続について、本学は「Web 方式」となりますので、共通テスト出願サイトのマイページにて「申込番号」を確認のうえ、Web 出願サイト上で入力してください。 3 文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験の合格者（旧大学入学資格検定試験の合格者を含む。）は、Web 出願サイト「出身学校・出願資格」に、<u>最終の合格年月</u>を入力してください。 4 本人及びご家族等連絡先は、書類不備等緊急の場合に必要ですので、日中に連絡がとれる電話番号等を入力してください。 5（法・社会学部のみ） 入学後に履修する第二外国語を選択してください。選択に当たっては下記ウェブサイトの案内（10 月下旬頃までに更新予定）を必ず参照してください。 https://www.hit-u.ac.jp/kyomu/courses/regist_conf.html
宛名ラベル	出願登録後、Web 出願サイトの申込確認ページから、白色 A4 サイズの用紙にカラー印刷し、印字されている内容に誤りがないか確認して、市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）に貼り付けてください。 入学志願票及び次の「②その他必要な書類」に指定されている書類を封入し「一般書留・速達郵便」で出願期間内に到着するよう郵送してください。

② その他必要な書類

出身学校調査書	1 出身学校長が令和 7(2025)年 4 月以降に作成し、厳封したもの。 2 中等教育学校の場合は、後期課程のみでも可とします。
推薦書 [所定様式]	所定様式を本学ウェブサイト（最終頁参照）よりダウンロードしてください。推薦書は、出身学校長が作成（手書き・PC 等による作成を問わない）し厳封したものを提出してください。欄内に書ききれない場合は A4 サイズの用紙に記入した別紙の添付も可とします。
自己推薦書 [表紙のみ 所定様式]	表紙については、所定様式を本学ウェブサイト（最終頁参照）よりダウンロードしてください。 「総合的な探究の時間」や理数探究等において取り組んだ課題研究、今までの学校内外での活動・経験（出願要件に関するものを含む。）やそれらの成果獲得に向けた努力のプロセス、その内容を踏まえた自分の素質・才能・適性、これから目指したいもの、一橋大学で学びたいこと・取り組みたいこと、将来の希望などについて、自己をアピールする「自己推薦書」を作成してください。 「自己推薦書」は、入学志願者本人が片面 3 枚以内で作成（手書き・PC 等による作成を問わない）し、出願要件に関する書類を添付して提出してください。本や雑誌等の掲載資料等、自己推薦書の内容に関する根拠資料がある場合、添付することも認めます。

出願要件に関する書類 ※右の(A)～(J)の内、志望する学部の出願要件に該当するいずれか1つ以上の書類等を用意してください。 商学部 : (A)～(G) 経済学部 : (A)～(E) 法学部 : (A)～(E) 社会学部 : (A)～(F) ソーシャル・データサイエンス学部 : (A)～(F)、(H)～(J)	(A) 実用英語技能検定(英検)1級、TOEFL iBT スコア 93 点以上、IELTS (アカデミック・モジュール) Overall Band Score 6.5 以上のいずれかの証明書を提出してください。IELTS 成績証明書については発行機関からの直送は認めませんので、検定試験事務局に依頼して送付を受けてください。ただし、IELTS Online の場合は、試験結果のプリントアウトの提出に加え、本学が電子送信で試験結果を確認できるように手続が必要です。
	(B) ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(GER)が定めた B2 以上のレベルの資格の証明書を提出してください。
	(C) 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上又はヨーロッパ言語共通参照枠(CECRL)が定めた B2 以上のレベルの資格の証明書を提出してください。
	(D) 中国語検定試験(中検)準1級以上又は HSK6 級 200 点以上のスコアの証明書を提出してください。
	(E) 日本数学オリンピックで予選通過(Aランク取得者)又はBランク上位者を証明することのできる書類等を提出してください。
	(F) 応用情報技術者試験(旧ソフトウェア開発技術者試験)に合格していることを証明する書類等を提出してください。
	(G) 日商簿記検定試験1級を取得していることを証明する書類等を提出してください。
	(H) 日本情報オリンピックで予選Aランク取得者であることを証明する書類等を提出してください。
	(I) 統計検定2級にA評価以上で合格もしくは1級の「統計数理」に合格していることを証明する書類等を提出してください。 <u>※証明書類が発行機関から直送される場合、そのことが分かるメモを出願書類に同封のうえ、出願期間最終日までに到着するよう手配してください(直送書類に限り、出願期間前の到着を認めます。出願期間最終日までに到着しない場合は書類不備とみなし、出願を受理しません。)</u>。証明書の送付先は「186-8601 東京都国立市中 2-1 一橋大学学務部入試課 学校推薦型選抜担当」宛としてください。
	(J) 国際バカロレア資格証書及び成績評価証明書を提出してください。

※いずれの証明書も、原本、もしくは原本の写しであることを証明済のものに限ります。原本の写しであることの証明は、あらかじめ、出身高等学校等で受けてください。本学入試課での証明を希望する場合は、次の3点を簡易書留で入試課宛てに郵送または持参してください。①証明書原本 ②志願者本人の身分証明書の写し ③返送用封筒(宛先を記入し、簡易書留分の切手を貼付したもの)

※証明する書類等が、検定試験運営側の都合等により出願時には発行されておらず、第2次試験当日までに発行予定の場合には、その旨を説明した「証明書類を提出できない理由書」を作成し、提出してください。この場合、原本を第2次試験当日に持参してください。

③Web 出願サイトで登録作業が必要なもの

検定料 (17,000円)	検定料は、クレジットカード (VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club)、コンビニエンスストア、銀行 ATM (ペイジーでの支払)、及びネットバンキングで支払ができます。 検定料のほかに、サービス利用料として別途 700 円が必要です。 ※銀行窓口での支払はできません。 ※コンビニエンスストアに設置されている銀行 ATM での支払はできません。 ※クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。ご家族等の名義でも支払が可能です。 ※検定料支払時に受け取る収納証明書 (領収書・受領書・ご利用明細書等) は郵送不要です。 ※本学には検定料免除制度があります。詳細は p. 27「経済的困窮者及び災害被災者に対する検定料免除制度について」を確認してください。 ※第 1 段階選抜の不合格者及び本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目の全てを受験していない者 (「無資格者」とする。以下同じ。) に対しては、13,000 円を返還します。 (「7 (3)」を参照)。該当する者は、2026 年 3 月 3 日 (火) までに必要な手続を行ってください。この期間を過ぎると、返還できない場合があります。
顔写真 (証明写真) データ	Web 出願サイトで志願者本人の顔写真データを登録してください。 顔写真は、最近 3 か月以内に撮影したもので、カラー写真 (白黒不可)、上半身・正面向き、無帽、無背景、枠無しのものでします。 (スマートフォンやタブレット端末のカメラ機能、デジタルカメラ等で撮影したものも可) また、写真データ形式は JPEG もしくは PNG のいずれかで、100KB 以上 5MB 以下のデータを登録してください。 なお、登録した顔写真データは、入学後の学生証の写真として使用します。

(4) 注意事項

- ① 国公立大学の学校推薦型選抜 (大学入学共通テストを課す、課さないに関わらず) へ出願できるのは、1 つの大学・学部に限られていますが、不合格になった場合に備えて「前期日程」から 1 つ、「後期日程」から 1 つ、合計 2 つの大学・学部に出願することができます。

したがって、本学の学校推薦型選抜に出願した場合でも、本学の「前期日程」・「後期日程」にそれぞれ出願することができます。

- ② 出願書類等に不備がある場合は受理しません。
- ③ Web 出願サイトに登録した内容に誤りがあった場合 (住所の誤記入等) は、メールでのみ修正を受け付けます (電話不可)。修正依頼のメール (宛先は最終頁参照) は、件名に「出願内容修正」と明記し、本文に氏名、整理番号、セキュリティコード、修正内容を記載してください。加えて、出願書類 (紙) においても朱書きで修正を行い、修正依頼のメールを送信した日付を横に記載してください。なお、修正依頼のメールに対し返信は行いません。修正が完了したかの問合せにも応じられませんので、登録の際は誤りのないよう慎重に行ってください。
- ④ 入学志願票提出後は、志望学部の変更は認めません。
- ⑤ 一旦受理した書類等及び納入した検定料は、返還しません。 (第 1 段階選抜不合格者及び無資格者の検定料を除きます。)
- ⑥ 出願に際し不正等があった場合は、入学許可後であっても、これを取り消します。

(5) 個人情報の取扱い

個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人一橋大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- ① 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜 (出願処理、選

抜実施)、合格者発表、入学手続業務を行うために利用します。

② 入学者選抜に用いた試験成績等の情報は、入学後の教育指導並びに今後の入学者選抜方法及び広報活動の検討資料の作成のために利用することがあります。

③ 上記①及び②の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。

その場合は、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

④ 国公立大学の一般選抜における合格者発表業務を円滑に行うため、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報(氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テスト受験番号に限る。)を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

⑤ 出願に当たって知り得た個人情報は、入学者のみ、以下の目的のために利用します。①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料等免除・奨学金申請等)、③授業料徴収関係、④研究教育振興関係、⑤その他、本学ウェブサイト「個人情報の取扱いについて」<<https://www.hit-u.ac.jp/guide/information/pi/toriatsukai.html>> において定める目的

5 障害等のある入学志願者への受験上の配慮について

本学では、障害等がある方の受験に対して合理的な配慮を行っており、そのための相談を常時受け付けています。

障害等があつて、受験上の配慮を希望する場合、その内容によっては、本学が対応を決定するまでに時間を要することがあります。本学への出願を考えている場合は、2025年12月19日(金)までに、入試課に以下の(1)により申請してください。

なお、上記期限後の申請についても、引き続き配慮検討の対象になりますが、希望する配慮事項によっては対応が間に合わないことがありますので、事前にお電話等でご連絡いただくとともに、早めの申請を推奨します。

配慮の申請をした場合であっても、本学への出願が義務付けられるわけではありません。出願する、しないが未定であっても申請は可能です。

(1) 申請の方法

配慮の申請は、(2)の書式により申請書を作成のうえ、医師の診断書などの必要な書類を添付してメールにて行ってください(メールアドレスは本要項最終頁参照)。申請内容を検討のうえ、受験上の配慮の有無等を決定します。

※提供いただいた個人情報は、配慮内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に入試課に確認してください。

(2) 書式(※白色A4サイズで作成のこと。)

書式データは本学ウェブサイト(https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/jizen_hairyo.html)からダウンロード可能です。

○修学上の配慮に関する相談について

修学上の配慮に関する相談窓口は、以下のとおりです。

アクセシビリティ支援室：<https://www.hit-u.ac.jp/shien/counseling/shougai/shougaishien.html>

6 選抜方法等

第1段階選抜と第2次試験に分けて実施します。

- (1) 第1段階選抜は、大学入学共通テストの成績により行います。
- (2) 第2次試験は、第1段階選抜合格者に対し、推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テストの成績により能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

7 第1段階選抜・第1段階選抜合格者発表・第2次試験

- (1) 第1段階選抜

○ 選抜方法

【商学部】

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和 8(2026)年度大学入学共通テストの教科・科目（p. 19 別表「大学入学共通テストの利用教科・科目名」の第 1 欄を参照）の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 258 位相当の得点以上であった者を合格者としします。

なお、p. 19 別表の第 1 欄に指定した教科・科目の全てを受験しなかった者でも、第 2 欄に指定した教科・科目の全てを受験した者については、第 2 欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 258 位相当の得点以上であった者を合格者としします。

【経済学部】

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和 8(2026)年度大学入学共通テストの教科・科目（p. 19 別表「大学入学共通テストの利用教科・科目名」の第 1 欄を参照）の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 258 位相当の得点以上であった者を合格者としします。

なお、p. 19 別表の第 1 欄に指定した教科・科目の全てを受験しなかった者でも、第 2 欄に指定した教科・科目の全てを受験した者については、第 2 欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 258 位相当の得点以上であった者を合格者としします。

【法学部】

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和 8(2026)年度大学入学共通テストの教科・科目（p. 19 別表「大学入学共通テストの利用教科・科目名」の第 1 欄を参照）の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 159 位相当の得点以上であった者を合格者としします。

なお、p. 19 別表の第 1 欄に指定した教科・科目の全てを受験しなかった者でも、第 2 欄に指定した教科・科目の全てを受験した者については、第 2 欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 159 位相当の得点以上であった者を合格者としします。

【社会学部】

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和 8(2026)年度大学入学共通テストの教科・科目（p. 19 別表「大学入学共通テストの利用教科・科目名」の第 1 欄を参照）の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 220 位相当の得点以上であった者を合格者とします。

なお、p. 19 別表の第 1 欄に指定した教科・科目の全てを受験しなかった者でも、第 2 欄に指定した教科・科目の全てを受験した者については、第 2 欄の教科・科目の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 220 位相当の得点以上であった者を合格者とします。

【ソーシャル・データサイエンス学部】

本学部が一般選抜前期日程試験に関して指定する令和 8(2026)年度大学入学共通テストの教科・科目（p. 19 別表「大学入学共通テストの利用教科・科目名」の第 1 欄・第 2 欄を参照）の得点（素点。ただし、得点調整が実施された場合は調整後の得点。また、英語はリーディング・リスニングの素点を合計した 200 点満点。）を合計したものを入学志願者の成績とし、この成績が本学部一般選抜前期日程試験出願者の第 1 段階選抜における上位 60 位相当の得点以上であった者を合格者とします。

別表

学校推薦型選抜に係る令和8(2026)年度大学入学共通テストの利用教科・科目名						
			第1欄		第2欄	
教科	グループ	出願科目	受験科目数		受験科目数	
国語		「国語」	◎	1	◎	1
地理歴史 公民		「地理総合、地理探究」	○	2	○	1
		「歴史総合、日本史探究」	○		○	
		「歴史総合、世界史探究」	○		○	
		「公共、倫理」	○		○	
		「公共、政治・経済」	○		○	
ただし、「公共、倫理」と「公共、政治・経済」の組合せを選択することはできません。						
数学	①	「数学Ⅰ，数学A」	◎	1	◎	1
	②	「数学Ⅱ，数学B，数学C」	◎	1	◎	1
理科		「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」	○	から1		
		「物理」	○			
		「化学」	○		○	2
		「生物」	○		○	
		「地学」	○		○	
外国語		「英語」（リスニングを含みます。）	○	1	○	1
		「ドイツ語」	○		○	
		「フランス語」	○		○	
		「中国語」	○		○	
		「韓国語」	○		○	
情報		「情報Ⅰ」	◎	1	◎	1

※1 ◎印は入学志願者全員が受験しなければならない科目を意味し、○印は出願教科・科目区分欄ごとに、受験科目数欄の数だけ科目を選んで受験しなければならないことを意味します。

※2 第1欄と第2欄について

【商学部・経済学部・法学部・社会学部】

第1欄は、本学部が一般選抜前期日程試験において指定する教科・科目と一致しています。第1欄の要件を満たさない入学志願者についてののみ、第2欄を適用します。したがって、地理歴史・公民の中から2科目を受験した者は、「物理」・「化学」・「生物」・「地学」から2科目受験していても、第1欄が適用されます。

第1欄適用者が理科を2科目受験している場合は、第1解答科目（前半に受験した科目）の成績を用います。

【ソーシャル・データサイエンス学部】

第1欄及び第2欄の両方の要件を満たす入学志願者については、得点の高い方の成績を用います。

第1欄適用の場合の得点は、理科を2科目受験しているときはそのうち得点の高い方の成績を用います。第2欄適用の場合の得点は、地理歴史・公民を2科目受験しているときはそのうち得点の高い方の成績を用います。

※3 英語の得点は、リーディング・リスニングの素点を合計した200点満点とします。

※4 本学がこの表の第1欄又は第2欄で指定する令和8年度大学入学共通テストの教科・科目の全てを受験していない者は無資格者として扱い、第2次試験の受験は認めません。

(2) 第1段階選抜合格者発表日時

第1段階選抜合格者の大学入学共通テストの「試験場コード - 受験番号」を、以下のとおり合格者発表ウェブサイトに掲載します。

2026年2月6日(金)14時00分以降

- 合格者発表ウェブサイト(パソコン、スマートフォン及びタブレット端末によるアクセスが可能)

https://admission.telemail.jp/shingaku/topics_g/successes/school/10003381

- 掲載期間：2026年2月9日(月)まで

合格者発表
ウェブサイト
QRコード



(3) 受験票等について

第1段階選抜合格者は、第1段階選抜合格者発表後にWeb出願サイト申込確認ページにログインし、受験票を白色A4サイズ用の紙に印刷してください。試験当日に「令和8年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票」と併せて持参してください。受験票の郵送はありません。

なお、第1段階選抜不合格者及び無資格者については、検定料13,000円を返還します。第1段階選抜不合格者及び無資格者は、Web出願サイト申込確認ページにログインし、2026年3月3日(火)までに「検定料返還申請」から申請手続きを行ってください。

また、申込確認ページへのログインには、出願登録時にメール交付される整理番号・セキュリティコードが必要です。

(4) 第2次試験（第1段階選抜合格者に対して行います。）

推薦書、調査書などの提出書類並びに小論文、面接試験及び大学入学共通テスト試験成績により入学志願者の能力、学習意欲、適性等を総合的に判定します。

① 選抜方法

ア 小論文【大きなテーマについて論じさせることにより、構想力、論理的思考力、分析力、表現力、独創力などを多面的にみます。】

イ 面接【個別面接（口頭試問を含む）】

② 試験日程

月 日	選抜方法	受験者入室	試験開始	試験終了
2026年2月9日(月)	小論文	9時30分～ 10時10分	10時30分	12時00分
	個別面接	13時10分まで	13時30分	17時00分頃

③ 試験場（小論文・面接）

一橋大学国立西キャンパス

※詳細は、試験当日午前9時00分から、一橋大学国立西キャンパス正門にてご案内します。試験当日まで試験場建物には入れません。指定された試験場以外では受験できません。

④ 第2次試験受験に当たっての注意

試験当日の所持品についての注意事項、禁止されたものの試験時間中の所持・使用が発覚した場合の対応、その他受験上の注意事項等については、受験票に記載するほか、第1段階選抜合格者発表日までに本学ウェブサイト（最終頁参照）に掲載しますので、必ず確認してください。

ア 試験において不正行為を行った場合、失格とします。また、不正行為に関しては、警察に被害届を提出する場合があります。

イ 「学校推薦型選抜受験票」のほかに「令和8年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験票」を必ず持参してください。（「学校推薦型選抜受験票」は入学手続等の際にも必要となります。）なお、「学校推薦型選抜受験票」はWeb出願サイトより何度でも出力が可能です。

ウ 試験場での食堂営業等を行わないため、昼食を持参してください。自席で食事をとっても構いません。

エ 試験当日は事故等が発生する場合も考えられるため、試験場への経路について各自事前に十分確認してください。

なお、事故等で試験当日に試験開始時刻までに到着できない場合は、各学部事務室（商学部：TEL 042-580-8181、経済学部：TEL 042-580-8191、法学部：TEL 042-580-8206、社会学部：TEL 042-580-8212、ソーシャル・データサイエンス学部：TEL042-580-9205）まで問い合わせてください。

オ 自動車、バイク、自転車等での入場は認めません。

カ 本学の学校推薦型選抜合格者は、他の国公立大学・学部（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く（※）。）の教科・科目に係る個別テスト等を受験しても入学資格は得られません。ただし、入学辞退が本学で許可されている場合を除きます。

※公立大学協会ウェブサイト（<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>）参照

⑤ 配点等

【商学部】

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書調査書	自己推薦書	合計
大学入学共通テスト	50	50		50	50	50	50					300
第2次試験								250	150	40	10	450

【経済学部】

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書調査書	自己推薦書	合計
大学入学共通テスト	45	45		45	35	45	35					250
第2次試験								300	150	40	10	500

【法学部】

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書調査書	自己推薦書	合計
大学入学共通テスト	40	50		50	40	40	30					250
第2次試験								300	150	40	10	500

【社会学部】

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50	50					300
第2次試験								300	120	20	10	450

【ソーシャル・データサイエンス学部】

教科等	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	面接	推薦書 調査書	自己 推薦書	合計
大学入学 共通テスト	50	50		50	50	50	50					300
第2次試験								250	150	40	10	450

8 最終合格者発表

(1) 合格者発表日時

2026年2月10日(火) 14時00分以降

(2) 合格者発表方法等

合格者発表ウェブサイトにて、第2次試験合格者の受験番号を掲載します。合格者には合格通知書及び入学手続書類を合格者発表当日に発送します(到着は翌日以降になります。)

- 合格者発表ウェブサイト (パソコン、スマートフォン及びタブレット端末によるアクセスが可能)

https://admission.telemail.jp/shingaku/topics_g/successes/school/10003381

- 掲載期間：2026年2月10日(火)～2月18日(水)

(3) 留意事項

- ① 推薦を行った学校長あてに可否の結果を郵便で通知します。
- ② 電話・メール等による可否の照会には応じられません。

合格者発表
ウェブサイト
QRコード



9 入学料の納入

以下の方法により入学料を納入してください。

なお、所定の期間内に入学手続（入学料の納入・収納証明書の郵送）を行わないと、入学辞退者として扱われるので注意してください。

※入学料免除・徴収猶予を希望する者（「11 授業料の納入及び入学料・授業料の免除・徴収猶予について」参照）は、**入学料を納入せず**、合格通知書送付時に同封する「入学手続案内」を参照のうえ、必要な手続を行ってください。

入学料	納入方法
282,000円	① コンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカードのいずれかの支払方法で、本学ウェブサイトから入学料支払サイトへアクセスし、入学料を納入してください。詳細は入学手続書類に同封されている「一橋大学 入学料の納入について」を確認してください。 ② 【コンビニエンスストア（ファミリーマート、セブンイレブン、ローソン、ミニストップ）決済の場合】 店舗で発行される「収納証明書」を他の必要書類とともに提出してください。 【その他のコンビニエンスストア、ペイジー、ネットバンキング、クレジットカード決済の場合】 入学料支払サイトで申し込み内容照会結果から「収納証明書」を印刷し、他の必要書類とともに提出してください。

(注1) 入学を辞退した場合など、いかなる理由があっても既納の入学料は返還しません。

(注2) 入学料は改定される場合があります。

10 入学手続

※入学手続に必要な書類等は、合格通知書送付時に同封します。

入学手続 手順	「9 入学料の納入」に従って手続し、入学手続書類に同封される入学手続書類等送付用封筒を使用して以下の書類を郵送してください。 ① 収納証明書 ※入学料の免除・徴収猶予の申請者は、入学料を納入せず、収納証明書の代わりに申請書類を同封してください。 ② 国公立大学入学確認票 ③ 学校推薦型選抜受験票 ④ 受験票返送用封筒（住所・氏名を記入のうえ、簡易書留送料分の切手を貼付してください。）
入学手続 期限	2026年2月18日(水)必着（遅れた場合、受付しません。）
注意事項	<u>上記の入学手続期限までに入学手続を行わなければ、本学の学校推薦型選抜合格者としての権利を失います。</u> 上記必要書類を確認後、入学手続期限後3営業日以内を目途に、受験票返送用封筒で③の受験票を返送します。この返送をもって入学手続完了となります。 本学で入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部に入學手続を行うことはできないため注意してください。また、入学手続を行った者は、他の国公立大学・学部の一般選抜を受験しても、その合格者とはなりません。 なお、いかなる理由があっても既納の入学料は返還しません。 ※学校推薦型選抜の合格者が、特別の事情により本学に入學することが困難となった場合は、推薦を行った学校長からの「推薦入学辞退願」を2026年2月18日(水)までに入試課に提出し、許可を得なければなりません。許可されなかった場合、もしくは入学手続を行わなかった場合は、他の国公立大学・学部の一般選抜を受験しても、その合格者とはなりません。

※2026年2月16日(月)13時00分までに入学手続書類等の郵便が配達されなかった場合は、同日15時までに必ず入試課（最終頁の問合せ先参照）まで連絡してください（それ以前の郵便到着に関するお問合せはご遠慮ください。）。やむを得ない理由で郵送による入学手続ができない場合も、同日同時刻までに連絡してください。

※合格通知書及び入学手続書類は、Web 出願サイトに登録した住所宛に送付します。万が一、住所変更が生じた場合は、郵便物の転送手続を行い、確実に受け取れるようにしてください。

11 授業料の納入及び入学料・授業料の免除・徴収猶予について

授業料は入学後に納入となります。なお、本学には、入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度があります。

1 授業料の納入について

授業料の額 (入学後に納入)	【2026 年度 前期分】	321,480 円
	【2026 年度 後期分】	321,480 円

(注 1) 授業料は口座振替での納入になります。口座振替の手続書類は入学手続書類に同封します。前期分は入学した年の5月に、後期分は10月に引き落とします。

(注 2) 授業料は改定される場合があります。

2 入学料及び授業料の免除・徴収猶予について

(1) 入学料・授業料の免除制度

以下に該当する者は、申請により、入学料及び授業料の免除を認められることがあります。

- ① 入学手続時点で、日本学生支援機構給付奨学金（「高等教育の修学支援新制度」）に予約採用され、「第Ⅰ区分」から「第Ⅲ区分」、「第Ⅳ区分（多子世帯）」および「多子世帯」の認定を受けている者（※「第Ⅳ区分（私立理工農）」の認定を受けた者、および「貸与奨学金」のみに採用された者は該当しません。）
- ② 入学後、日本学生支援機構給付奨学金（「高等教育の修学支援新制度」）に申込み予定の者（事前に日本学生支援機構ウェブサイトで家計基準等の申請要件を確認してください。）
- ③ 入学前1年以内に、学資負担者が死亡したこと、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学料の納入が著しく困難である者（要件が非常に限定されているため、必ず事前に学生支援課（scholarship@ad.hit-u.ac.jp）まで相談してください。）

(2) 入学料・授業料の徴収猶予制度

上記(1)に該当しなくても、経済的理由により入学料及び授業料の納入が困難な場合、申請により徴収猶予が認められることがあります。

(3) 手続方法等

いずれも手続等の詳細については、合格通知書送付時に同封する「入学手続案内」を参照してください。

入学料免除・徴収猶予を申請する場合は、入学手続時に入学料を納入せず、上記の手続を行ってください。

12 その他

(1) 卒業証明書等の提出について

- 1 卒業見込又は修了見込で出願した者は、入学後に、卒業証明書又は修了証明書を提出することになるので、準備しておいてください。
- 2 大学又は高等専門学校在籍中に出願した者は、入学後に、退学証明書を提出することになるので、準備しておいてください。

(2) 保険について

学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険は、学生生活における万一の事故やケガなどに備える学生用の保険です。

本保険制度には全国国立大学法人の100%が加入登録していて、①正課中（講義、実験、実習、演習又は実技による授業を受けている間、指導教員の指示に基づき研究活動を行っている間）、②学校行事中（大学の主催する入学式、オリエンテーション、卒業式など教育活動の一環としての各種学校行事に参加している間）、③キャンパス内にいる間（大学が教育活動のために所有、使用又は管理している学校施設内にいる間）、④課外活動中（大学の規則にのっとりた所定の手続により、大学の認めた学内学生団体・サークルの管理下で行う文化・体育活動を行っている間）の傷害事故等や通学中の事故等（特約）が補償されますので、本学学生も積極的に加入しています。

学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）	4年間の保険料	3,300円（予定）
---------------------	---------	------------

学生教育研究災害傷害保険付帯賠償責任保険	4年間の保険料	1,360円（予定）
----------------------	---------	------------

合計：4,660円（予定）

13 参考（学校推薦型選抜合格状況）

年度	学部	定員	出願数	第1段階 選抜合格者数	合格者数
令和7 (2025)年度	商学部	15	22	9	9
	経済学部	15	12	5	5
	法学部	10	10	7	7
	社会学部	10	16	14	10
	ソーシャル・データ サイエンス学部	5	12	9	2
令和6 (2024)年度	商学部	15	12	6	6
	経済学部	15	9	9	6
	法学部	10	17	10	10
	社会学部	10	15	6	6
	ソーシャル・データ サイエンス学部	5	3	3	3
令和5 (2023)年度	商学部	15	12	8	8
	経済学部	15	10	7	6
	法学部	10	8	3	2
	社会学部	10	21	11	10
	ソーシャル・データ サイエンス学部	5	4	1	1

経済的困窮者及び災害被災者に対しての検定料免除制度について

一橋大学では学部入学者選抜において、経済的に困窮している入学志願者及び災害に被災した入学志願者に対して進学を提供するための検定料免除制度を実施しています。

1 免除対象となる入学者選抜

検定料免除の対象となる試験は、令和8年度学部入学者選抜(令和7年度に実施される入学者選抜)のうち、一般選抜、学校推薦型選抜、外国学校出身者選抜です。

2 免除の対象

- (1) 主たる家計支持者が給与所得者（公的年金受給者を含む。）の場合は、入学者選抜実施日の前年の給与収入金額等が400万円以下である場合。主たる家計支持者が給与所得者以外の場合は、入学者選抜実施日の前々年の所得金額が218万円以下である場合
- (2) 主たる家計支持者が災害救助法適用地域において、入学者選抜実施日の1年以内に被災した場合
- (3) (2)に準ずる場合であって学長が相当と認める事由がある場合

3 免除の手続

検定料の免除を受けようとする者は、本学ウェブサイト(<https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/exemption/index.html>)より「検定料免除申請に当たっての注意事項」を確認したうえで、Web出願登録時に「入試区分の選択」画面の「検定料免除を申請しますか？」で「はい」を選択し、次の書類を出願書類とともに郵送してください。

なお、この手続を行う場合は、出願時に検定料を振り込まないでください。

- (1) 検定料免除願（上記ウェブサイトよりダウンロードし使用してください。）
- (2) 給与収入金額等又は所得金額に関する証明書類（2(1)の場合）
 - ① 給与収入及び公的年金である場合は、入学者選抜実施日の前年に当たる年の源泉徴収票又は年金支払証明書等（写）
 - ② 事業所得の場合は、入学者選抜実施日の前々年に当たる年の確定申告書の控え（写）
 - ③ 収入が無い場合は非課税証明書
- (3) 罹災証明書等（2(2)の場合）

4 免除の取消

記載内容が事実と異なる場合には、検定料の免除が取り消されます。

5 問合せ先

一橋大学学務部入試課（電話番号）042-580-8150

（受付）9時00分～17時00分（土・日曜日、祝日、年末年始は除く。）

国際学生宿舎について

一橋大学では、日本人学生と外国人留学生が共に暮らし、国際意識を高める環境として国際学生宿舎一橋寮（小平国際キャンパス内）を設けています。

入居を希望する方は、必ず申請受付期間に申請を行ってください。

募集要項は12月末までに学生支援課ウェブサイトに掲載します。



- ・学生支援課ウェブサイト (<https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>)
 - ・一橋大学ウェブサイト (<https://www.hit-u.ac.jp/>) からアクセスできます。
- トップページ上「在学生の方へ」→「キャンパスライフ：学生寮・アパート」

学生支援課ウェブサイト

I. 募集区分

单身室

※ 部屋のタイプはAタイプ・Bタイプの2種類がありますが、必ずしも希望する部屋タイプに入れるとは限りません。

II. 募集人数

若干名

III. 入居期間

令和8(2026)年3月25日(水)～令和10(2028)年3月15日(水)

※ 入居を許可された場合は、原則、令和8(2026)年3月25日(水)に入居してください。

IV. 入居申請受付期間

令和8(2026)年2月27日(金)～3月10日(火)17時00分

※ 詳細は募集要項を確認してください。

V. 選考結果発表

令和8(2026)年3月13日(金)17時までに学生支援課ウェブサイトで発表します。

住まい支援制度について

一橋大学では、学生支援の充実やダイバーシティ推進のため、学部新入生を対象とした「住まい支援制度」を実施しています。

本制度では、学部に入学者①女子学生 及び ②東京圏外（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県以外の道府県）出身学生に対し、大学指定の民間物件に居住する場合の家賃を一部補助します。対象者は最大50名で、月額30,000円を入学から最長2年間補助します。

詳細は、下記ウェブサイトにてご覧ください。



- ・学生支援課ウェブサイト (https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment_support.html)
 - ・一橋大学ウェブサイト (<https://www.hit-u.ac.jp/>) からアクセスできます。
- トップページ上「在学生の方へ」→「キャンパスライフ：住まい支援制度」

住まい支援ウェブサイト

◆国際学生宿舎・住まい支援制度に関する問合せ先
一橋大学学務部学生支援課 宿舎管理係
TEL: 042-580-8164
e-mail: dormitory@ad.hit-u.ac.jp

入学者選抜成績情報の提供について

1 希望者に提供する成績情報の内容

(1) 第1段階選抜

受験者の第1段階選抜の点数

(2) 第2次試験

受験者の第2次試験の配点に基づく点数

2 提供方法・提供期間

入学者選抜成績情報の提供はWeb出願サイト上で行います。成績情報提供を希望する場合は、受験者本人が提供期間中にWeb出願サイト申込確認ページにログインし、確認してください。

※Web出願サイト申込確認ページへのログインには、出願時にメール交付される整理番号とセキュリティコード入力が必要です。整理番号・セキュリティコードは自身で大切に保管してください。

【提供期間】2026年5月11日(月)午前10時 ～ 2026年9月30日(水)午後4時59分

一橋大学入学者選抜関連ウェブサイト・問合せ先

- 本学ウェブサイト <https://juken.hit-u.ac.jp/>
「一橋大学で学びたい方へ」
重要な変更がある場合や、試験場、試験当日の所持品についての注意事項、その他受験上の注意事項等についてもここに掲載します。
- Web 出願サイト <https://www.guide.52school.com/guidance/net-hit-u/>
受験票印刷、検定料返還申請、試験成績情報確認等のため申込確認ページへログインするには、出願登録時にメール交付される整理番号・セキュリティコードが必要です。
- 検定料免除制度 <https://juken.hit-u.ac.jp/admission/info/exemption/index.html>
- 合格者発表ウェブサイト https://admission.telemail.jp/shingaku/topics_g/successes/school/10003381

- 学生宿舎 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment.html>
- 住まい支援制度 https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/apartment_support.html
- 国立キャンパス <https://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/access.html>
交通案内／構内配置図 <https://www.hit-u.ac.jp/guide/campus/campus/index.html>

● Web 出願サイトの操作に関する問合せ先

志願受付操作サポート窓口

電 話： 0120-752-257

9 時 00 分～20 時 00 分（Web 出願サイト登録期間中）

※サイト内ガイダンス(<https://www.guide.52school.com/guidance/net-hit-u/>)もあわせて確認してください。

● その他に関する問合せ先

一橋大学 学務部 入試課

住 所： 〒186-8601 東京都国立市中 2 丁目 1 番地

電 話： 042-580-8150

e-mail： adm-inq@ad.hit-u.ac.jp

9 時 00 分～17 時 00 分（土・日曜日、祝日、年末年始は除く。）

* 電話・メールによる問合せは、**入学志願者本人**が行ってください。

また、合否に関する問合せには応じられません。